令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 安芸高田市社会福祉協議会

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2 年 3月 31日

■ 事業報告概要 (1頁 ~ 4頁)

■ 事業報告 (5頁 ~ 40頁)

重点取組1 社会福祉法人としての機能強	重点取組1	社会福祉法人とし	しての機能強化
---------------------	-------	----------	---------

		1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
Ν	Ю.		事業名		担当課	頁
	1	1-1	法人運営事業の推進		総務	5
	2	1-2	社会福祉従事者の育成		総務	8
	3	1-3	施設指定管理の受託運営	受託	総務	8

重点取組2 福祉のまちづくりをめざして ネットワークを活かした活動

No.		事業名	担当課	頁
4	2-1	地域福祉のネットワークづくり	総務	9

重点取組3 団体支援や講習会などを行ない つながりあるまちづくり

			- 0.10 / 100 0 0 / 2 - 1/		
No.		事業名		担当課	頁
5	3-1	福祉関係組織の活動支援		地域福祉	10

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

(1)ボラン	ノティア	活動の	推准と	摇肋
\ 1	ノタンノ	111	イロ・シリン	71比 延し	. VZ P/J

	トフノナ	イ/活動の推進と援助			
No.		事業名		担当課	頁
		ボランティア活動事業		地域福祉	12
(2)信		本による地域福祉活動の推進			
7 4		ふれあいサロン事業	助成	地域福祉	15
8 4		ほほえみネット事業		地域福祉	16
		障がい者地域生活アシスタント事業	受託	地域福祉	17
$\overline{(3)}$		支援の推進		-	
10 4		ファミリー・サポート・センター事業	受託	地域福祉	18
		子育て支援センターー時預り事業	受託	地域福祉	19
(4) 均		3ける権利擁護の推進			
12 4	4-7	福祉サービス利用援助事業かけはし	助成	地域福祉	20
13 4	4-8	成年後見事業		地域福祉	20
14 4	4-9	認知症カフェ		地域福祉	20
		資金貸付事業		地域福祉	22
(5)身	身近な均	也域での住民のつながり 支えあい活動の推進			
16 4		安心生活創造事業	受託	地域福祉	23
17 4	-12	配食サービス事業	受託	地域福祉	24
18 4		小地域のお茶の間づくり事業	助成	地域福祉	24
19 4		地域福祉交流推進基金事業		地域福祉	26
20 4	-15	福祉·介護人材確保基盤整備事業		地域福祉	28
21 4	-16	車椅子1日無料貸出		地域福祉	29

重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える 専門的サービスの提供

			<u> </u>		
No.		事業名		担当課	頁
22	5-1	地域福祉事業(一般介護予防事業)	受託	介護福祉2	29
23	5-2	介護保険事業(甲田事業所)		介護福祉2	30
24	5-3	障害者自立支援事業(甲田事業所)		介護福祉2	31
25	5-4	介護福祉事業		介護福祉1	32
26	5-5	介護保険事業(吉田事業所・本所事業所)		介護福祉1	32
27	5-6	障害者自立支援事業(吉田事業所)		介護福祉1	34

重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

No.		事業名		担当課	頁
28	6-1	地域包括支援センター事業	受託	地域包括	35

令和元年度 安芸高田市社会福祉協議会 事業報告

■事業報告概要

◆はじめに

令和元年度は、「ともに支えあい、心豊かに」をスローガンに、住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現のため、<地域福祉と在宅福祉の融合>、<福祉の開拓者として>の2項目を基本方針の柱に掲げ、事業推進を図ってまいりました。第2次社協中期経営計画の初年度目にあたり、より計画性の高い組織、事業運営を行い経営の安定化を図ってまいりました。

また、組織機構の見直しを行ない「地域福祉会議」「福祉・介護人材確保基盤整備事業」の2大事業を強力に推進するため、新たに「地域共生推進特命課」を新設し、地域福祉の担い手の掘り起し、地域課題の洗い出しのため3町に「地域福祉会議」を設置しました。また、福祉・介護人材確保基盤整備の推進として行政、福祉施設等と協働し、「介護職員初任者研修」をはじめとする事業を実施し人材の育成・定着に努めてまいりました。

さらには、地域福祉課、介護保険事業所と地域包括支援センターによる連携強化によるサービスの向上を行い、役職員が一丸となり事業活動の「見える化」を行なう中で、社協会員である地域住民に対し、市社協事業内容の啓発を行ないました。

その中で、全世代を視野に置き、住民主体の地域課題の解決力の向上と地域支援 のあり方を改めて確認しながら、将来像を見据え、地域包括ケアシステムの深化・推進 を担う団体として、以下の重点取組を柱に各種事業を展開し、地域福祉の更なる充実 に取組みました。

3月からは新型コロナウイルス拡大防止のため、ふれあいサロン事業や一般介護予防事業等の一部事業の活動自粛および活動の制限を行ない感染予防対策に取組みました。

◆令和元年度の取組

重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

1 法人運営事業の推進

令和元度は社会福祉協議会が合併して15年と節目の年を迎え、記念行事として「合併15周年 安芸高田市社会福祉大会」を開催しました。記念公演については、定員700人に対し、1,287名の応募があり、市内外より多くの皆さまにご来場いただくことができました。

2 社会福祉従事者の育成

顧問弁護士を講師に迎え、法律的な視点からの個人情報の取り扱いについて、事

例を交え理解を深めました。

研修計画策定による計画的な専門研修や階級別研修等への職員参加を便宜し、また資格取得をめざす職員へ特別休暇の付与を行ないました。

また、人事考課制度の導入6年目となり、職員評価のあり方の見直しや社労士による人事考課・目標設定に関する研修会の開催、正職員登用試験を実施する等、中長期的な人材雇用と人材育成の双方を視点に業務執行を図りました。

|重点取組2| 福祉のまちづくりをめざしてのネットワークを活かした活動

1 地域福祉のネットワークづくり

年4回の社協だより発行やホームページにより、市民に幅広く、社協事業等の福祉 関連情報を提供・紹介し、福祉活動の啓発を図り、社協会員の加入を促進しました。 社協会費納入は総額4,538,550円となり、会員加入は賛助・団体を合わせ、延183会員 数となりました。

重点取組3 団体支援や講習会などを行い つながりあるまちづくり

1 福祉関係組織の活動支援

日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区の事務事業、また安芸高田市共同募金委員会事務を堅実に行ないました。救急法講習の普及や災害義援金を県支部を通じて、被災地へ届けました。地域福祉事業の財源となる共同募金運動として、街頭・イベント募金では赤い羽根募金活動を役職員が一丸となって行ないました。各町の福祉委員等のご尽力により、募金総額5,374,509円となりました。

また、共同募金配分金は、社協の地域福祉事業への充当に加え、公募・審査により、市内の住民組織2団体へ総額120,000円の助成を行ないました。

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして ともに支えあう地域福祉事業

1 ボランティア活動の推進と援助

次世代を担う子どもたちに、ボランティアや福祉・介護の理解と実践を目的に、プチボランティアスクールの開催や、小・中学校での出前講座として、高齢者疑似体験学習を行ないました。

地域の方に、福祉・介護について学ぶ機会を提供する「出前講座」へ、職員を派遣し、地域づくりの支援を行ないました。

被災者生活サポートボラネット推進事業においては推進会議の開催や、災害シミュレーション研修を通して平常時からの対応を関係機関・団体等と改めて確認しました。

また、ボランティア派遣や交流活動、講演会を開催しました。

2 住民主体による地域福祉活動の推進

閉じこもり防止や、楽しく集える場である、ふれあいサロン事業では、新規サロン立上げの相談対応や代表者会議での情報提供など運営のサポートを行ないました。

ほほえみネット事業では、介護保険等公的サービスのセーフティーネットとして、高

齢者の家事援助など、ほほえみさんによる、身近な人の支えあい活動を推進しました。 障がい者地域生活アシスタント事業では、障がいについて理解を深めるとともに、利 用者支援を行なう際の注意点や対応の仕方等を共有するため、講演会を開催しました。

3 子育て支援の推進

子育てを応援してほしい側と、応援する側のマッチング調整・支援を行ないました。 交流会では、日頃の育児の悩みをお互い話しあい、ふれあいあそびやエッグキャンド ル作り等企画し、27人の参加がありました。

吉田支所内の「ふわふわ」保育室では、保護者の勤務の都合等で、一時的に保育士等による子供の預りを行ない、延利用数321件の子育て支援を行ないました。

4 地域における権利擁護の推進

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民等、誰もが気軽に集まり、 安心して交流を楽しむ場として認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」 を開催しました。令和元年度は美土里町、高宮町、向原町で新規開設し、市内 全域設置を達成しました。また、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症 カフェの協力員を養成しました。

福祉サービス利用援助事業かけはしの契約登録件数は39人、延支援回数6,150回 となり、定期的な支援と、関係機関との連携により、専門的な支援を行ないました。 成年後見事業では、法人受任2件、延178回の支援を行ないました。

5 身近な地域での住民のつながり 支えあい活動の推進

地域福祉交流推進基金事業では、地域共生社会の実現を目指す地域基盤づくりである「地域福祉会議」の設置に向け、各町で事業協力者説明会を実施し、吉田町、八千代町、美土里町で地域福祉会議の設置を行ないました。

また、小地域お茶の間づくり事業では、地域の方の理解と運営により、美土里町1地域で、常設型サロンを新たに設置しました。延6,950人の利用があり、地域に根付いた高齢者の孤立予防や健康増進を目的とした住民の集いの場として、また地域ボランティアによる自主的な活動の場として、地域課題を地域で解決していくための工夫や人のつながりが深まっています。

福祉・介護人材確保基盤整備事業では、関係機関の支援を頂き、福祉・人材確保等総合支援協議会を設立し、福祉・介護人材の確保・育成・定着を図る取組の一環として、介護職員初任者研修を実施し、14名の受講者があり全員が修了試験に合格することができました。

重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える 専門的サービスの提供

一般介護予防事業においては、地域の支え合いや担い手づくりを目的に、地域の登録支援員と一緒に取組みを行ないました。延参加数4,268人で、前年度より110人延参加数が増えました。

通所介護事業においては、利用者数の減少により利用定員を30名から25名に変更となりましたが、引き続き、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ない、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

居宅介護支援事業においては、定期的なケース検討会を通して質の向上に努め、 他職種との連携を図りながら、困難ケースの支援に積極的に取組みました。また、社 協の出前講座の講師として他機関の医療従事者(訪問看護師、薬剤師)と連携し、充 実した人生にするための終活や健康増進の普及啓発に努めました。

福祉用具貸与事業においては、福祉用具の展示や細かなモニタリングを行ない、 レンタル、販売の商品PRを行ない、顧客獲得につなげました。また、定期ミーティング 等により職員間での連携を密にし、利用者の都合に合わせた柔軟な対応を行ない、 実績として、介護、予防とも利用者数が増えました。

訪問介護事業所では、特定事業所加算算定継続への取組みや、効率的シフト運用による時間外の削減を行い、収入確保に努めました。

重点取組6 地域の身近な相談窓口として ネットワークを活かした活動

地域包括支援センターは、複合的な困難事案の支援が増加し、三職種がこれまで 以上に迅速、丁寧な対応と早期解決に努めました。社協各支所を拠点とした定期巡 回訪問を開始し、課題については、「地域ケア会議」等を通して多職種と連携しながら 政策提言を行ないました。

また、出前講座や総合相談、包括だよりの発行、個別訪問等を通して、気軽な相談窓口としての地域包括支援センターの周知を行ないました。

介護予防支援事業所では、「自立支援」に向けて、適切なサービス提供ができるよう、 計画を作成しました。また委託事業所との連携を強化し、円滑な運営に取組みました。

■ 事業報告

令和元年度の各事業の実施状況について、次のとおり報告いたします。

重点取組1 社会福祉法人としての機能強化

1-1 法人運営事業の推進

(1)諸会議の開催

社協の基本理念や基本方針に基づいた活動、事業を計画的に展開するにあたり、 役職員が法人組織としての使命や役割について、共通した目的や認識を持ち、社協 運営事業を円滑に進めるため、諸会議を開催し、会務の運営を図りました。

① 理事会:計5回

区分	内 容	実施日
第1回	○平成 30 年度事業報告・資金収支決算の承認 について他	令和元年 5 月 23 日
第2回	○会長・副会長の選任について、部会員の選任 について、広報委員の選任について他	令和元年6月6日
第3回	○定款の変更について、規程の一部改正について、資金収支補正予算(第2次)について他	令和元年8月21日
第4回	○規程の一部改正について、資金収支補正予算 (第3次) について他	令和元年 11 月 27 日
第5回	○規程の一部改正について、○令和2年度事業 計画、令和2年度資金収支予算について他	令和2年2月28日

② 監査:計2回

区分	内 容	実施日
第1回	○平成30年度事業報告及び決算等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事項及び業務、安芸高田市共同募金委員会に関する事項及び業務	令和元年 5 月 15 日
第2回	○令和元年度上半期事業報告および経理状況 等、日本赤十字社安芸高田市地区に関する事 項および業務、安芸高田市共同募金委員会に 関する事項および業務	令和元年 11 月 18 日

③ 評議員会:計5回

区分	内 容	実施日
第1回	○平成 30 年度事業報告・資金収支決算の承認	令和元年6月6日
毋⊥凹 	について、理事および監事の選任について他	节和几千 0 月 0 日

第2回	○役員等報酬の総額の追認について	令和元年 6 月 20 日
第3回	○定款の変更について、規程の一部改正について、資金収支補正予算(第2次)について他	令和元年8月30日
第4回	○資金収支補正予算(第3次)について	令和元年12月6日
第5回	○資金収支補正予算(第4次)について、令和 2年度事業計画・資金収支予算について他	令和2年3月9日

④ 役員等選任委員会関係:計3回

区分	内 容	実施日	
第1回	○安芸高田市社会福祉協議会役員選任基準に ついて	令和元年 5 月 27 日	
第2回	○安芸高田市社会福祉協議会理事、監事の推薦 について	令和元年6月4日	
第3回	○評議員の選任について	令和元年6月13日	

⑤ 市福祉保健部・市社協社会福祉事業調整協議会:計2回

区分	内 容	実施日
第1回	○令和元年度事業について	令和元年 5 月 28 日
第2回	○令和2年度予算要望について	令和元年 11 月 29 日

⑥ 総務部会:計2回

区分	内 容	実施日	
第1回	○第1回理事会提出議案についての審議他	令和元年5月17日	
第2回	○第5回理事会提出議案についての審議	令和 2 年 2 月 20 日	

⑦ 介護保険事業関係部会:計3回

区分	内容	実施日	
第1回	○第1回理事会提出議案についての審議他	令和元年 5 月 20 日	
第2回	○通所介護事業所における利用定員数の変更 について、各事業所進捗状況等について	令和元年 7 月 30 日	
第3回	○第5回理事会提出議案についての審議、各事 業所進捗状況等について	令和2年2月27日	

⑧ 広報委員会:計4回

区分	内 容	実施日
第1回	○社協だより「第61号」掲載内容について	平成 31 年 4 月 10 日
第2回	○社協だより「第62号」掲載内容について	令和元年7月10日
第3回	○社協だより「第63号」掲載内容について	令和元年9月9日
第4回	○社協だより「第64号」掲載内容について	令和元年12月3日

⑨ 役員全員協議会:計4回

区分	内 容	実施日
第1回	○役員報酬等変更の経緯について、安芸高田市 福祉大会について	平成 31 年 4 月 18 日
第2回	○第3回理事会提出議案についての審議、地域 福祉会議についての協議	令和元年8月20日
第3回	○市の指導監査に対する結果報告について、新年度に向けた経営計画について	令和元年 12 月 6 日
第4回	○新年度予算について、地域福祉会議について、指導監査について	令和2年1月29日

⑩ 生活福祉資金貸付審査会 開催実績なし

① 福祉委員説明会開催実績なし

② 苦情解決に関する処理要綱の第三者委員会 開催実績なし

(2) 安芸高田市社会福祉大会

社会福祉協議会合併 15 周年を記念し、合併 15 周年記念 安芸高田市社会福祉大会を開催しました。午前の記念式典において、これまで社協役員および評議員として事業の遂行に当り功績のあった方への表彰を行ない、午後からは、社協会員の皆さまに参加いただき記念公演を開催しました。

開催日:令和元年7月4日

場 所:安芸高田市民文化センター クリスタルアージョ

内 容:記念式典および記念公演

出席者: 式典の部 41名 記念公演の部 700名

記念公演出演者:綾小路きみまろ、扇ひろ子、真木洋介、神杉チンドン屋一座





1-2 社会福祉従事者の育成

八頭町社協へ地域力強化推進事業並びに包括的支援体制構築事業に係る取組みについて視察し、役職員共に今後の運営に研鑽を深めました。また、各種研修に積極的に参加し、職員全体の資質向上に努めました。

区 分	内 容	実施日
役員・評議員等研修	○顧問弁護士による研修	平成 31 年 4 月 18 日
(文員・計職員寺训修	○八頭町社協視察研修会 8名	令和元年 11 月 13 日・ 14 日
職員研修	○人事考課研修○その他事業別研修等	令和元年9月9日 随時

1-3 施設指定管理の受託運営

安芸高田市から4施設の指定管理委託を受け、地域の福祉拠点として、多様化する住民ニーズに対応した場として運営ができるよう、設備の維持管理等を行いました。

管 理 施 設	延利用団体数	延利用者数 (人)
保健センター	259	5, 038
吉田老人福祉センター	268	2, 526
ふれあいセンターいきいきの里	271	3, 327
ふれあいセンターこうだ	178	3, 505
合 計	976	14, 396

重点取組2 福祉のまちづくりをめざして

ネットワークを活かした活動

2-1 地域福祉のネットワークづくり

(1) 社協ネットワークの構築

広報やホームページでの啓発やチラシを配布し、積極的に声掛けを行ない、社 協会員の加入促進を図りました。

①社協会費納入(集計金額 令和2年3月31日現在)

〔単位:円〕

	戸別会費	賛助会費	団体会費	合 計
吉 田	1, 300, 500	34, 000	126, 000	1, 460, 500
八千代	552, 250	6,000	48,000	606, 250
美土里	424, 500	6,000	24, 000	454, 500
高 宮	525, 500	6,000	42,000	573, 500
甲田	679, 000	18, 000	36, 000	733, 000
向 原	661, 800	5,000	12, 000	678, 800
市外		2,000	30, 000	32,000
合 計	4, 143, 550	77, 000	318, 000	4, 538, 550

②会員加入状況(令和2年3月31日現在) [単位:件]

	賛助会員	団体会員
吉 田	34	42
八千代	6	16
美土里	6	8
高 宮	6	14
甲田	18	12
向 原	5	4
市外	2	10
合 計	77	106

重点取組3 団体支援や講習会などを行ない つながりあるまちづくり

3-1 福祉関係組織の活動支援

(1) 日本赤十字社広島県支部安芸高田市地区事務事業

災害救護・救急法講習・AED(自動体外式除細動器)の普及など健康と安全を守る活 動や、看護師養成・血液事業・医療事業の推進に活用させていただくため、活動資 金(会費)の募集を行ないました。また、災害に対し各義援金を取扱い、広島県支 部を通じて被災地へ届けることができました。

区 分	内容	実 施 時 期	
戸別会費	○短礼禾县。佐賴通知 500 円 / 豆	令和元年5月1日~	
广冽云箕 	│○福祉委員へ依頼通知 500 円/戸	令和2年3月31日	

①会費納入(集計金額 令和2年3月31日現在)

①会費納入(集計金額 令和2年3月31日現在)			〔単位	左:円〕
	一般会費	世帯数	納入世帯数	納入率
吉田	1, 195, 500	3, 849	2, 390	62. 1%
八千代	539, 000	1, 235	1, 097	88. 8%
美土里	398, 500	923	790	85. 6%
高 宮	509, 500	1, 259	1,016	80. 7%
甲田	656, 000	1, 701	1, 312	77. 1%
向 原	659, 300	1, 463	1, 319	90. 1%
合 計	3, 957, 800	10, 430	7, 924	76. 0%

②災害義援金受付状況

	~ · ·	
義援金・救援金名	受付期間	義援金
平成 28 年熊本地震災害義援金	平成31年4月1日~ 令和2年3月31日	5, 746
平成 30 年 7 月広島県 豪雨災害義援金	平成 31 年 4 月 1 日~ 令和 2 年 3 月 31 日	105, 547
平成30年7月豪雨災害義援金	平成31年4月1日~ 令和2年3月31日	14, 337
平成 30 年北海道胆振東部 地震災害義援金	平成31年4月1日~ 令和2年3月31日	2, 082
令和元年台風 19 号災害義援金	令和元年 10 月 16 日~ 令和 2 年 3 月 31 日	616, 699

[単位:円]

③災害、火災等への支援協力

[災害支援]

災害発生日	地域	状況	毛布	緊急セット	バ、スタオル	寝衣大	寝衣小	学用品
令和2年3月22日	美土里	全焼	3	1	2	2	0	0

④赤十字講習会

[実績表] [単位:回]

AED	救急法	災害時高齢 者生活支援 講習	健康生活 支援講習会	幼児安全法	合 計
0	1	0	0	1	2

(2) 安芸高田市共同募金委員会事務事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取組む住民団体やグループ等を支援する仕組み として、また、住民のやさしさや思いやりを届ける運動として、「じぶんの町を良く するしくみ。」をメインテーマに赤い羽根共同募金運動を行ないました。

①運営委員会:計2回

区分	内 容	実施日
第1回	○平成30年度事業報告・決算の承認について	令和元年7月16日
	○会則、審査委員会設置運営規程の一部改正につ	新型コロナウイルス感
第2回	いて	染拡大防止のため、書
	○令和2年度事業計画・会計予算について	面議決

②審査委員会: 開催実績なし

③募金実績(集計金額 令和2年3月31日現在)

		戸別募金	法人募金	職域募金	街頭・イベント募金	その他	歳末	学校	合計
吉	田	1, 311, 000	89, 000	297, 300	68, 900	54, 736	0	0	1, 820, 936
八=	F代	551, 250	30, 000	60, 200	58, 362	5, 133	0	0	704, 945
美	上里	422, 000	30, 000	56, 200	8, 844	13, 000	0	0	530, 044
髙	宮	524, 000	64, 000	116, 800	62, 180	7, 965	0	0	774, 945
甲	田	663, 000	51, 000	48, 800	0	8, 411	0	0	771, 211
向	原	649, 300	36, 000	63, 200	23, 928	0	0	0	772, 428
市	外					0	0	0	0
合	計	4, 120, 550	300, 000	642, 500	222, 214	89, 245	0	0	5, 374, 509

〔単位:円〕

(3) 共同募金配分金事業

市民の皆さまにご協力いただいた募金は地域福祉充実のために活用しています。

- ①社会福祉協議会事業への配分
 - · 地域福祉交流基金事業 530,000 円
 - ・ボランティア活動事業 30,000円
 - ・ふれあいサロン事業 1,010,000円
 - ・配食サービス事業 304,000円
 - ・小地域のお茶の間づくり事業

800,000円

・認知症カフェ事業

236,000 円

- ②地域助成事業配分
 - ・市内の地域住民で組織する2団体へ総額120,000円の助成
- ③共同募金委員会運営

重点取組4 笑顔あふれる地域づくりをめざして

ともに支えあう地域福祉事業

4 – 1 ボランティア活動の推進と援助:ボランティア活動事業

ボランティア情報の収集と発信、関係分野の団体等と協働による活動ニーズの把握、ボランティアコーディネート業務、ボランティアに関する人材の養成、ボランティアの情報交換の場の提供などによりボランティア活動を進めました。

(1) ボランティアの発掘・育成

①「ぷちボランティアスクール」

次世代を担う生徒たちが、自分たちの住む地域で「私のできること」を自らが考え、それを実践することで、地域や人との「結びつき」の重要性や「ボランティア」に対する理解・関心を高めるとともに、次世代の人材(ボランティア)を育成することを目的として開催しました。

期 間: 令和元7月26日~8月23日

対象者:市内の中学生・高校生

参加者:8人

内 容:ワークショップ・活動(高齢者福祉施設・保育所・清掃活動)・ふ

り返り



②「福祉・介護・出前講座」

地域の住民の集会等において、福祉及び介護に関する知識や情報を収集 することを支援するため、市社協職員又は市社協が認める外部組織の講師 を派遣し、福祉・介護の出前講座を行ないました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1件キャンセル

[実績表]

	講座回数	受講者数
認知症	1	13
こころの健康	1	15
薬と健康の管理	1	53
健康づくり	3	38
福祉体験	3	87
レクリエーション	8	89
転倒予防	1	26
高齢者の生き方	1	13
権利擁護	1	12
終活を考える	2	14
災害(予測・支援)	1	14
合 計	24	391



(2) ボランティアに関する情報提供・斡旋紹介・登録・相談等

社協ホームページやお太助フォンを活用して情報提供を行なうほか、ボランティアニーズの斡旋紹介や各種相談に応じました。

[実績表]

	登録者数(人)	登録団体数
吉 田	82	1
八千代	8	1
美土里	123	10
高 宮	83	5
甲田	7	0
向 原	5	0
市域	23	2
合 計	331	19

活動内容:施設ボランティア (デイサービス手伝い、小物作りなど)・ふれあい サロン・環境保全ボランティア (花植え・ゴミ拾いなど)・配食ボラ ンティア・朗読ボランティア・手話ボランティアなど

(3) 各関係機関との連携

各関係機関との連携を図りながら、ボランティアニーズの把握や情報共有 等を行ないました。

①会議開催

1) 安芸高田市ボランティア連絡協議会

[第1回]

日 時:令和元年7月29日(月) 10:00~11:00

内 容:平成30年度事業報告・決算について

令和元年度事業計画・予算について

ボランティア交流活動について

出席者:6人

[第2回]

日 時:令和元年9月20日(金) 15:00~16:00

内 容:ボランティア交流活動について

出席者:3人

②交流活動

日 時:令和元年10月26日(土) 9:00~13:20

内 容: 郡山城登山道付近清掃活動、交流会

参加者:67人

③ボランティア派遣

[安芸高田市身体障害者グランドゴルフ大会]

日 時:令和元年10月5日(土) 8:30~13:00

場 所:吉田運動公園

派遣数:8人

「第41回安芸高田市身体障害者福祉大会」

日 時:令和元年10月20日(日) 10:00~14:00

場 所:生涯学習センターみらい

派遣数:3人

④ボランティア講演会

日 時:令和2年2月15日(土) 13:30~15:00

内容:「レクリエーション活動の体験教室」

として、誰でも簡単に行なえるレク

リエーションやゲームを学ぶ

講師:公益財団法人日本レクリエーション

協会

秋山聖子氏、森繫光晴氏、清池優貴氏

参加者:72人



(4) 被災者生活サポートボラネット推進事業

いざという時の「共助」を培うために、平常時も被災者生活サポートボラネットを常設させ、関係機関・団体等と災害時における対応について改めて確認しました。

構成団体:20 団体

①会議開催

被災者生活サポートボラネット推進会議

日 時:令和元年 8月8日(木) 13:30~14:35 場 所:安芸高田市保健センター 第1研修室 内 容:被災者生活サポートボラネットについて

被災者生活サポートボラネット推進マニュアルについて

災害シミュレーション研修について

出席者:16人

②災害シミュレーション研修

日 時:令和元年12月12日(木)

 $13:30\sim15:30$

場 所:市役所高宮支所

内 容:基礎説明、運営準備、演習、

まとめ

参加者:48人



4-2~4-4 住民主体による地域福祉活動の推進

|4-2 地域福祉活動の推進:ふれあいサロン事業

閉じこもり防止や、楽しく過ごせる場づくり としてふれあいサロンを推進し、各サロンへの 活動費を助成するほか、新規サロン開設や運営 についての相談、ふれあいサロン代表者会議で の情報提供等を行ないました。



※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛お願い通知文書の発送

〔活動実績表〕

	サロン数(うち新規数) 開催数		延利用者数
吉田	9 (3)	99	1, 469
八千代	16 (1)	147	1,610
美土里	17	139	2, 448
高 宮	11 (1)	80	805
甲田	29 (2)	288	2, 949
向 原	20 (2)	180	2, 591
合 計	102 (9)	933	11, 872

(1) サロン代表者会議

	開催数	延出席者数
吉田	2	12
八千代	3	44
美土里	3	24
高 宮	2	14
甲田	3	42
向 原	2	19
合 計	15	155

4-3 地域福祉活動の推進:ほほえみネット事業

暮らしの中のちょっとした困りごとを応援し合うお互いさま活動として、手伝いを必要とする利用者の相談を受け、手伝いをする協力員をコーディネートする等、助け合いのサービスを推進しました。

支援件数:367件 協力員数:62人

※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限

〔活動内容〕

内 容	活動件数
家事援助(掃除・調理等)	152
見守り・話し相手	87
粗大ゴミの搬出・ゴミ出し	63
買い物	45
薬の受取り	9
散歩の付き添い・犬の散歩	1
その他	10
合 計	367

地域福祉活動の推進:障がい者地域生活アシスタント事業 4 - 4

障がいのある方が、地域のなかで安心して暮らすことができるよう、生活協力員 と利用者との連絡調整を行ない、利用者のサポートを推進しました。また、事業に 関する相談対応等行ないました。

※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため体調不良時は日程変更 (串肄業)

/ i

	吉田	八千代	美土里	高	宮	甲田	向 原	合 計
利用者数	2	0	0		0	0	0	2
延支援回数	22	0	0		0	0	0	22
生活協力員	7	6	1		2	2	1	19

(1) 講演会

障がい者地域生活アシスタント事業について、理解を深めるとともに、利用者へ の支援を行なう際の注意点や対応の仕方等を共有するため、講演会の参加を案内し ました。

[講演会]

日 時:令和元年10月30日(水) 13:30~15:15

場 所:八千代人権福祉センター

内容:大人のひきこもりの理解とつながる支援

講師:岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 周防 美智子氏

生活協力員参加者:9人



4-5~4-6 子育て支援の推進

4-5 子育て支援の推進:ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事のため、早朝や夕方、または休日などに子どもを保育できない保護者のため、子育てを応援して欲しい人(依頼会員)と子育てを応援してくれる人 (提供会員)との連絡調整を行ない、両方を繋げ子育ての応援を行ないました。

※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限

支援件数:575件 提供会員:51人 依頼会員:59人 両方会員:4人



[支援内容]

内 容	支援件数(件)
学童保育・学校の送迎	453
学童保育の開始前や終了後の預かり	75
保育施設までの送迎	37
保育施設の開始前や終了後の預かり	9
保護者等の短時間・臨時就労の預かり	1
合 計	575

(1)交流会

会員さん同士交流しながら顔見知りになることで、スムーズな支援につなげることと、育児や生活上の悩みなどお互いに話す機会を持ちました。

「第26回ファミサポ交流会」

日 時:令和元年8月17日(土) 10:00~15:30 内 容:ふれあいあそび、エッグキャンドル作り、 お店屋さんごっこ、防災講座、アンケート

参加者:提供会員4人、依頼・一時預り会員6人、子ども14人、

ぷちボラ1人、他大人2人 計27人

(2) 合同研修会

ファミリー・サポート・センター事業の提供会員・依頼会員と子育て支援センター事業の一時預り会員合同での研修会を開き、ダッチオーブンで無水カレー作りと葉皿作り(陶芸)、午後から日本赤十字社広島県支部広島県安全赤十字奉仕団の赤十字幼児安全指導員の方に、子どもに起こりやすい事故の話や異物除去法、心肺蘇生、AEDの使い方を学びました。

「ファミリー・サポート・センター事業

一時預り事業合同研修会」

日 時:令和元年11月24日(日) 9:30~15:30

内 容:ダッチオーブンで無水カレー作り、葉皿作り(陶芸)

幼児安全法と心肺蘇生法、AED の使い方

参加者:提供会員5人、依頼・一時預り会員5人、両方会員2人、その他2人、子ども15人、計29人

4-6 子育て支援の推進:子育て支援センターー時預り事業

上の子の参観日や通院、美容院や仕事など 急な用事で子どもを保育できない時、吉田支所内 の保育室「ふわふわ」で一時的に子どもを預り、 保育を行ないました。

※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため預かり制限



支援件数: 321 件 会員数 : 167 件

[利用理由]

内 容	利用件数
私用	84
兄弟姉妹の行事の参加	70
講習会・習いごと	45
保護者の勤務の都合	37
家族の通院・健診等	34
保護者の通院・体調不良	28
美容院	10
就職活動	5
引っ越し準備	4
リフレッシュ	2
免許の更新・確定申告	1
買い物	1
合 計	321

4-7~4-10 地域における権利擁護の推進

4-7 地域における権利擁護の推進:福祉サービス利用援助事業かけはし

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対して、地域で生活を送ることができるよう、福祉サービスの利用支援、日常的な金銭管理、通帳・印鑑・証書等の預かりを内容とする福祉サービスの利用援助を行ないました。

[実績表]

	吉	田	八千代	美土里	高	宮	甲	田	向	原	合計
登録者数		20	2	7		1		2		7	39
延支援回数	3, 4	41	249	710		123		233	1,	394	6, 150
生活支援員		6	2	3		2		3		1	17

4-8 地域における権利擁護の推進:成年後見事業

判断能力が不十分な方の契約や財産管理を手助けする後見人を、法人で受任すると同時に、住民の皆さまの身近な相談所となるよう努めました。

[実績表]

	後見	保 佐	補助	合 計
受任件数	2	0	0	2
延支援回数	178	0	0	178

(1) 審査委員会

第1回契約締結審査委員会

日 時:令和2年3月23日(月) 13:30~14:00 場 所:安芸高田市保健センター 第1研修室

内 容:福祉サービス利用援助事業の利用者案件 1件

4-9 地域における権利擁護の推進:認知症カフェ

(1) 認知症カフェ「あいちゃんのホッとするカフェ」

地域で生活している認知症の方や、家族、地域住民、医療や介護の専門職、認知症について関心のある方など、誰もが気軽に集まり、安心して交流を楽しむ場として開催しました。

また、7月に美土里町、高宮町、向原町で新規開設し、市内全域設置を達成しました。さらに、協力員を募集し、認知症サポーター養成講座を開催することにより、協力員を養成し、参加者の支援を行ないました。

※2月28日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催自粛 お太助フォンを活用し、開催自粛の旨を案内

実施地域:吉田町

開催日:毎月第4水曜日 9:30~11:30 場 所:ふれあいセンターいきいきの里

内 容:カフェ、相談対応等

実施地域:八千代町

開催日:毎月第4月曜日 9:30~11:30

場 所:八千代人権福祉センター

内 容:カフェ、相談対応等



実施地域:美土里町

開催日:毎月第4金曜日 9:30~11:30

場 所:美土里方面隊第2分団コミュニティ消防センター

内 容:カフェ、相談対応等

実施地域:高宮町

開催日:毎月第4金曜日13:30~15:30

場 所:市役所高宮支所

内 容:カフェ、相談対応等

実施地域:甲田町

開催日:毎月第4木曜日 9:30~11:30

場 所:ふれあいセンターこうだ

内 容:カフェ、相談対応等

実施地域:向原町

開催日:毎月第4火曜日13:30~15:30

場 所:向原生涯学習センターみらい

内 容:カフェ、相談対応等



[実績表]

実施地域	延参加者数(人)	相談対応件数
吉田町	96	0
八千代町	130	0
美土里町	28	0
高宮町	147	1
甲田町	49	1
向原町	86	0
合計	536	2

※ 物忘れ相談プログラムについては、実施なし

認知症サポーター養成講座

•日 時 令和元年8月9日(金)

13:30~15:00

・受講者 協力員 12 人



4-10 地域における権利擁護の推進:資金貸付事業

	平成30年度		令和元年度	
資 金 名	年度末件数	新規貸付 件数	償還件数	償還免除 件数
1. 高額療養・出産費貸付資金				
(1)高額療養費貸付資金	0	0	0	0
(2)出産費貸付資金	0	0	0	0
2. 生活福祉資金				
(1)生活福祉資金	3	0	0	0
(2)緊急小口資金	5	1	1	0
(3) 特例貸付借入 (緊急小口資金)	0	1	0	0

※特例貸付借入:新型コロナウイルスの影響による緊急小口資金

4-11~4-14 身近な地域での住民のつながり

支えあい活動の推進

4-11 安心生活創造事業

一人暮らし世帯、高齢者・障がい者世帯が地域で安心して暮らせるための応援活動として、日常的に支援が必要な方に、地域住民が連携し、利用者宅へ巡回訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行ないました。

(1) 見守り活動および生活支援

生活・介護サポーター養成講座を修了した登録訪問員が、利用者宅へ巡回 訪問する見守り活動および契約訪問による生活支援を行なうための連絡調整 を行ないました。また、支援対象者の実態把握調査等の利用対象者としての 利用申請手続きも行ないました。

※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動制限 [実績表]

	利用者数	訪問員数	巡回訪問 支援回数	契約訪問 支援回数	実態把握 調査数
吉 田	18	81	157	0	0
八千代	13	43	138	8	0
美土里	26	44	238	0	0
高 宮	10	56	27	0	0
甲田	22	74	153	13	0
向 原	5	29	16	0	0
合 計	94	327	729	21	0

(2) 地域の見守り体制

地域で安心して生活できるよう、配達時などに声かけや安否確認を行う、 お太助協力店として、登録、活動していただきました。

[お太助協力店登録数]

吉	田	八千代	美土里	高	宮	甲	田	向	原	合	計
	22	6	7		10		10		6		61

(3) 関係機関との連携

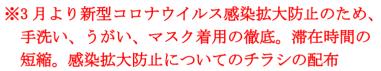
民生委員・児童委員や行政、地域住民との連携を図りながら、支援が必要な方の発掘を行ないました。また、地域における課題等を情報共有するための協議会を開催しました。

日 時:令和元年12月5日(木) 13:30~15:15

参加者:63人

4-12 配食サービス事業

在宅の高齢者に対して、配食ボランティアが栄養 バランスのとれた食事を定期的に配達し、あわせ て安否確認や体調の変化の察知を行ない、次に繋 がるよう推進しました。





〔実績表〕

	八千代	高 宮	甲田	合 計
登録者数	18	39	37	94
配食回数	95	49	50	194
配食数	404	798	261	1, 463

4-13 小地域お茶の間づくり事業

常設的な拠点で地域課題を共有し、その地域課題を地域の中で解決できる仕組みづくりを構築し、高齢者等の日中の居場所づくりとして、新たに1地域で常設型のサロンを開所し、市内全域設置の充実を図りました。

※3月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛お願い通知文書の発送

実施地域:美土里町横田地区(継続)

1) くつろぎハウス運営

開所日:毎週月曜日・水曜日・金曜日

時 間:9:30~15:30

場 所:美土里高齢者コミュニティセンター

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
152	3, 143

実施地域:甲田町小田東地域(継続)

1) 小田東ひだまりサロン運営

開所日:毎月第2・4金曜日

時 間:10:00~14:30

場 所:ふれあいセンターこうだ

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
20	993

実施地域:八千代町佐々井地域(継続)

1) えがおサロンやちよ運営

開所日:毎月第1・3月曜日

時 間:9:30~11:30

場 所:八千代人権福祉センター

〔実績表〕

延開所日	延べ利用者数
18	530

実施地域:向原町保垣地域(継続)

1) たかのすカフェ運営

開所日:毎月第1・3 火曜日 時 間:13:30~15:30

場 所:向原町保垣地区生活改善センター

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
23	608

実施地域:吉田町吉田地区(継続)

1) りあん吉田運営

開所日:毎月第1·3 水曜日 時 間:13:30~15:00

場 所:ふれあいセンターいきいきの里

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
22	769

実施地域:高宮町佐々部地区(継続)

1) なかよしカフェ運営

開所日:毎月第2·4水曜日 時 間:10:00~12:00

場 所:安芸高田市役所高宮支所

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
21	281

実施地域:吉田町可愛地区(継続)

1) 小山サロンやまびこ開所

開所日:每月第2木曜日、第3土曜日

時 間:13:30~16:00

場 所:小山会館

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
27	520

実施地域:美土里町北地区(新規)

1) 地域関係者との協議

開催数:2回

内 容:事業概要説明

運営協議会の設立についてなど

出席者:11人

2) 協力員との協議

運営協議会

開催数:1回

内 容:運営要綱について、開所に向けての協議

3) きんさいサロン開所

開 所:令和2年1月15日 開所日:毎月第1·3水曜日 時 間:13:30~15:30

場 所:北振興会館

[実績表]

延開所日	延べ利用者数
5	106

4-14 地域福祉交流推進基金事業

【地域福祉会議】

住民が主体的に地域の福祉課題を把握して、解決を試みる我が事の地域づくりおよび地域の福祉課題を包括的に受け止める丸ごとの地域づくりという地域共生社会の実現を目指す地域基盤づくりを行ないます。

(1) 事業説明会

区 分	内 容	実施日	
役員全員協議会	○地域福祉会議について	令和元年8月20日	
仅貝土貝勋硪云	○支所職員との意見交換	节和几千 0 月 20 日	
市民生委員児童委	【地区協議会会長会議】	令和元年 9 月 10 日	
員協議会	○地域福祉会議について	节和几千9月10日	
事業協力者説明会	○地域福祉会議について	令和元年12月9日	
(町ごとに開催)	○各地域代表者の選出	~12月19日	
		令和2年3月19日	
地域福祉会議の推	【地域福祉会議推進研修会】	(新型コロナウイル	
進に係る研修会 〇各支所職員、委員を対象とし		ス感染防止のため延	
		期)	

(2) 地域福祉会議

吉田地域福祉会議

[第1回]

日 時:令和2年2月18日(火)13:30~

内容:地域福祉会議設立について

・議長の選出

・地域福祉会議の内容について

出席者:4人

「第2回]

日時:令和2年3月25日(水)13:30~

内容:令和元年度について

事業報告について

決算について

新年度について

・事業計画について

予算について

出席者: 4人

八千代地域福祉会議

[第1回]

日時:令和2年2月21日(水)14:00~

内容:地域福祉会議設立について

・議長の選出

・地域福祉会議の内容について

出席者:5人

「第2回]

日 時:令和2年3月19日(木)13:15~

内容:令和元年度について

・事業報告について

決算について

新年度について

・事業計画について

予算について

出席者:7人

美土里地域福祉会議

「第1回]

日時:令和2年2月26日(水)14:00~

内容:地域福祉会議設立について

・議長の選出

・地域福祉会議の内容について

出席者:4人

[第2回]

日 時: 令和2年3月18日(水)13:30~

内容:令和元年度について

事業報告について

決算について

新年度について

・事業計画について

・予算について

出席者:3人

4-15 福祉・介護人材確保基盤整備事業

行政、福祉団体、ハローワーク、県社協と協働して福祉・介護人材確保等総合支援協議会を設立し、福祉・介護人材の確保・育成・定着を図る取組を実践します。

①市福祉・介護人材確保等総合支援協議会設立準備会:計2回

区分	内 容	実施日
第1回	○事業説明○協議会設立について○設置要綱(案) について	令和元年6月13日
第2回	○協議会設立について○設置要綱(案) について○会長の選任について	令和元年7月17日

②市福祉・介護人材確保等総合支援協議会:計2回

区分	内 容	実施日
第1回	○初任者研修の募集状況について○初任者研修実施期間中の施設説明会について○初任者研修の現場実習について○県の取組について医療介護人材課から報告	令和元年8月26日
第2回	○初任者研修の実施状況について ○次年度の取組として提案されたものについて ○福祉系資格取得に関するアンケート結果につ いて	令和元年 11 月 25 日

③介護職員初任者研修

募集期間:令和元年8月9日~9月25日

申 込 者: 14人

研修期間:令和元年10月3日~令和2年1月30日(計14日間)

卒業者: 14人

○最終日に安芸高田市内にある特養6施設と社協との、面談・相談会を開催

参加者: 9人

4-16 車椅子1日無料貸出

各支所にある社協の所有する車椅子を一時的(1日間)に必要とされる方へ無料で貸出を行うことで、通院や外出時等の便宜を図りました。

[実績表]

	吉	田	八千代	美土里	高	宮	甲	田	向	原	合	計
利用者数		12	1	3		6		2		4		28

重点取組5 住み慣れた地域での安心生活を支える 専門的サービスの提供

国の動向から今後の方策として、多様な担い手による生活支援、運動・通いの場の提供、見守り等の体制づくりが必要とされています。令和元年度は専門性を活かし、他機関との連携を強化し協働で困難なケースの支援を行なうとともに、社協の事業所として地域へ出向き住民への啓発活動も行ないました。

5-1 地域福祉事業

(1) 一般介護予防事業 (げんき教室)

地域の集会所を拠点に、高齢者がいつまでも元気でいきいきと生活していけるよう、介護予防活動を推進しました。専門職員が中心となり、教室ごとに地域性や参加者の身体的状況を考慮し、創意工夫を凝らしたメニューにより、生活機能の維持・向上に向けた取組みを行ないました。

①内 容:健康チェック、介護予防運動、認知症・うつ予防 など

②対象者:65歳以上、要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けて

いてもデイサービス、デイケアまたは新しい総合事業通所型サ

ービスを利用していない方

③開催日:年間49回まで

④場 所:吉田老人福祉センター・ふれあいセンターいきいきの里

丹比生活改善センター・丹比西集会所 ふれあいセンターこうだ・山田集会所

高地ふれあい集会所・長屋集会所・火の谷集会所

北原集会所·前田会館

※3月3日から3月31日まで新型コロナウイルス感染予防として活動自粛

[実績表]

	会場名	登録者 (人)	開催数 (回)	延参加数 (人)
	吉田老人福祉センター	14	43	393
吉田	ふれあいセンターいきいきの里	16	42	408
μш	丹比生活改善センター	21	45	765
	丹比西集会所	21	45	568
	ふれあいセンターこうだ	20	38	508
	山田集会所	7	38	184
甲田	高地ふれあい集会所	10	44	314
	長屋集会所	11	45	266
	火の谷集会所	7	39	236
11 工人	北原集会所	9	45	296
八千代	前田会館	10	45	330
	合 計	146	469	4, 268

|5-2 介護保険事業:甲田事業所

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常 生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や 生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制 要件(計画的な内・外部研修、定例会議等)を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	390	32	24, 819, 145

2) 総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	212	17	4, 067, 140

(2)通所介護事業

居宅において、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、入浴や食事等の必要な援助、機能訓練の提供を行ないました。日々介護に携わっている介護者の身体的・精神的負担の軽減に努めるとともに、一人ひとりが持つ能力を充分に発揮してもらえるよう、能動的音楽療法や軽度運動療法によるメニューをおこない、心身機能の維持向上や孤立感の解消に努めました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	539	44	42, 846, 770

2)総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	178	14	5, 980, 350

5-3 障害者自立支援事業:甲田事業所

住み慣れた地域での安心生活を支えるため、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助を行ないました。

1) 障害サービス:居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	33	2	947, 730

2) 地域生活支援:移動支援

実績なし

5-4 介護福祉事業

(1)養育支援家庭訪問事業(受託)

養育支援が特に必要な家庭に、訪問介護員が家事及び育児等の援助を行ないます。 今年度、市からの要請依頼は3件で回数は8回の実績がありました。

「実績表〕

	延利用回数(回)	収入額(円)
令和元年度	8	21, 440

(2) 訪問介護自費サービス事業

介護保険サービスでは対応できない内容において、訪問介護吉田事業所が相談を 受け、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供を行ないました。

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	17	1	66, 300

5-5 介護保険事業:吉田事業所・本所事業所

(1) 訪問介護事業

住み慣れた地域で、可能な限り居宅において、利用者の有する能力に応じ自立した日常生活がおくれるよう、要介護者・要支援者を対象に、訪問介護員が身体介護や生活援助の提供をしました。特定事業所加算算定事業所として人材要件、体制要件(計画的な内・外部研修、定例会議等)を整え、事業運営を行ないました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	524	43	28, 286, 751

2)総合事業

〔実績表〕

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	218	18	4, 054, 090

(2)居宅介護支援事業

日常生活の困りごとや介護に関する相談、介護認定申請の代行、居宅サービス計画書の作成等を行ないました。質の高いマネジメントを実施するため、事業内での情報共有や研修機会を確保しスキルの向上を図るとともに、支援困難ケースへの積極的な対応を行ないました。地域支援活動を他機関の専門職と合同で推進し、健康増進や終活への啓発活動に取り組みました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	2, 160	180	31, 459, 960

2) 介護予防・総合事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	84	7	376, 440

3) 要介護認定調査

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	100	8	327, 360

4) 困難事例対応

[実績表]

	困難事例受入数(人)	地域ケア会議出席数(回)
令和元年度	2	1

5) 地域支援活動(町別)

〔実績表〕

	支援活動数(回)	延支援活動数(人)
吉田	0	0
八千代	6	11
美土里	0	0
高 宮	1	1
甲田	2	4
向 原	4	4
合 計	13	20

(3)福祉用具貸与事業

心身の状況、生活環境を踏まえた適切な福祉用具の選定援助、取付け、調整等を 行ない、福祉用具の貸出や販売を通して、日常生活での自立支援や介護負担の軽減 に努めました。定期ミーティングにより内部での情報共有を密にし、細かなモニタ リングを実施するとともに、利用者の都合に合わせ柔軟な対応を行ないました。

1) 介護保険

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	2, 856	238	40, 048, 300

2) 介護予防

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	1, 534	127	12, 628, 841

3) 自費レンタル事業

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	282	23	766, 610

(4)福祉用具販売事業

全体(介護保険・介護予防・介護保険対象外等)

[実績表]

	延利用件数(件)	月平均利用件数(件)	収入額(円)
令和元年度	149	12	3, 378, 195

5-6 障害者自立支援事業:吉田事業所

住み慣れた地域で、安心して自立した生活がおくれるよう、障がい支援区分認定者を対象に訪問介護員が居宅を訪問して、身体介護・生活援助、外出支援を行ないました。

(1) 障害サービス:居宅介護

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	165	13	13, 722, 330

(2)地域生活支援:移動支援

[実績表]

	延利用者数(人)	月平均利用者数(人)	収入額(円)
令和元年度	7	0.5	30, 130

重点取組6 地域の身近な相談窓口として

ネットワークを活かした活動

6-1 地域包括支援センター事業

(1)総合相談業務(権利擁護相談含む)

介護や医療、福祉など様々な相談を受け、相談内容に応じて適切な関係機関と連携を取りながら、早期対応と問題解決に努めました。

また、様々な行事や地域活動に参加し、気軽な相談窓口として地域包括支援センターの周知を図りました。

相談者	延件数
本人	203
家族	185
市役所	38
介護サービス事業所	171
病院・薬局	47
障害者基幹相談支援センター	2
社協	37
民生委員	32
福祉委員	0
近所	8
知人	4
事業者等	1
他市町	3
県・保健所	2
その他	9
合 計	742

相談内容	延件数
在宅介護	50
公的福祉サービス	20
介護保険	400
認知症	26
福祉用具	14
住宅改修	7
公的サービス以外の 社会資源	0
高齢者虐待	12
成年後見	1
消費者被害	2
アルコール依存等	3
行方不明	0
精神・健康問題	175
生活困窮	6
その他	26
合 計	742

相談方法	延件数
電話	561
来所	137
訪問	12
外出先で相談を受けた	29
その他(会議等)	3
合 計	742

○三職種支援実績:三職種が関係機関等と連携して支援した実績

今 和二年	支援実人数	719 人
令和元年度	支援延べ回数	3, 456 回

○支援の詳細 ※重複あり

連携機関	相談件数
本人	1, 574
家族・親族	1, 096
介護サービス事業所	1, 037
市役所	471
病院・薬局	230
民生委員	188
社協	138
友人・知人・隣人	126
その他	177
合 計	5, 037

支援内容	件数
介護保険	1, 990
健康・医療	574
精神・アルコール	394
認知症	407
生活環境	347
家計・経済	222
福祉サービス	235
権利擁護(後見・虐待)	221
福祉サービス外	129
その他	167
合 計	4, 686

(2)地域巡回 · 個別訪問

地域の課題や問題を把握するために、6月から各支所や関係機関、民生委員と連携をとりながら定期的に地域をまわり現状把握を行いました。

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
訪問戸数	102	85	73	39	27	25	351

	吉田	八千代	美土里	高宮	甲田	向原	合計
一人暮らし	35	17	50	24	6	12	144
高齢者二人暮らし	9	7	13	10	3	4	46
空 家	17	25	4	1	0	0	47
ゴミ	7	1	0	0	1	1	10

犬(飼育困難)	3	0	0	0	0	0	3
猫(多頭飼い)	0	1	2	0	1	0	4
ひきこもり	1	1	0	0	0	0	2
ギャンブル	2	0	0	0	0	0	2
困窮	1	0	0	1	0	0	2
身寄りなし	1	0	0	0	0	0	1
アルコール	2	0	0	0	1	0	3
健康管理	2	0	2	3	1	1	9

(3) 権利擁護業務

虐待の早期発見・把握に努め、市役所や他機関と連携して早期解決に向けて対応 しました。

消費者被害、成年後見制度の相談に応じ、情報提供や啓発を行ないました。

○高齢者の虐待状況等

	項目	件数	備考
1) 木	目談・通報受理件数	9	
2) ‡	目談・通報者		
	家族・親族	2	
	本人	1	
	介護支援専門員等	6	
	行政職員	0	
3) 🖣	事実確認調査の結果		
	虐待と判断	6	
	虐待ではないと判断	1	
	虐待の判断に至らなかった	2	
	経過観察・事実確認中等	0	
4)系	冬結	5	

(4)包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者におけるさまざまな問題を解決するために、関係機関と連携を図りながら 支援を行ないました。また、地域のケアマネジャー間のネットワーク作りを行な い、情報交換や後方支援を行ないました。

○研修会の開催

地域の介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会を開催することで、介 護支援専門員のスキルアップを図るとともに、顔の見える関係や今後の支援体 制の構築を図りました。

研修会名	日時	参加者
第1回野中式事例検討会	令和元年5月23日(木)	28 名
第2回野中式事例検討会	令和元年 10 月 24 日 (木)	27名
第1回自立支援型	令和元年7月11日(木)	33 名
ケアマネジメント勉強会	1941470 173 II H (714)	ооэд
第2回自立支援型	 令和元年 12 月 12 日(木)	38 名
ケアマネジメント勉強会		Д

○地域ケア会議の開催

内容	回数
個別課題解決	11 回
地域課題解決	3 回

○小規模多機能運営推進会議への参加

内容	回数
小規模多機能運営推進会議	26 回(9 事業所)

○居宅介護支援事業所連絡協議会への参加

内容	回数
安芸高田市居宅介護支援事業所連絡協議会	12回 (月1回)

(5) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援の方へ、自立支援のための介護予防サービス計画作成およびサービス提供の支援を行ないました。

認定調査を安芸高田市から受託し、介護支援専門員が家庭等を訪問し本人の心身の状態を調査しました。

①指定介護予防支援業務

		延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	収入額(円)
	直営分	2, 431	202	10, 625, 070
令和元年度	委託分	1, 204	100	5, 393, 640
	小 計	3, 635	302	16, 018, 710

②介護予防ケアマネジメント

		延利用者数(人)	月平均利用者数 (人)	収入額(円)
	直営分	1,021	85	4, 572, 578
令和元年度	委託分	656	54	2, 843, 252
	小 計	1,677	139	7, 415, 830

③認定調査

	延調査件数(人)	月平均調査件数(人)	収入額(円)
令和元年度	171	14	554, 040

(6) 市・関係機関との連携

様々な会議に参加し、常に市役所や関係機関等と情報共有や連携を図りました。 また、多職種連携研修や市民公開講座等で地域住民と関わりを持ち、関係作りに 努めました。

①会議関係

内容	回数
市との定例会議	12 回
在宅医療・介護連携推進会議	3 回
在宅医療・介護連携会議地域課題部会	5 回
障害者自立支援協議会	3 回

②研修会・講演会

内容	回数
多職種連携研修会	3 旦
ミニ市民公開講座	4 回

(7) 出前講座

依頼のあった団体等へ出向き、高齢者の生き方や健康づくり等の講座を行うとと もに、地域包括支援センターの周知を図りました。

団体	内容	回数	延参加者
・ふれあいサロン	・高齢者の生き方		
・老人クラブ等	・健康づくり	25 回	490名
(21 会場)	・包括支援センターの役割		
	• 認知症 等		

(8) 研修会への参加

業務に関係する研修会へ参加し、個々のスキルアップを図るとともに、研修会で 学んだことを事業所内で周知し、事業所としてのスキルアップに努めました。

内容	回数
地域包括・在宅介護支援センター協議会研修	1 回
高齢者虐待対応研修	2 回
自立支援型ケアマネジメント研修会	1 回
地域包括支援センター職員研修	2 回
認知症研修会	1 回
芸北自殺未遂者支援対策研修会	2 回
クレーム・苦情処理研修会	2 回
その他	11 回